

## 1. 住む・暮らす -住まい-

- 一人暮らし世帯が増えるとする予測があり、  
「誰と住むか」は変わるのかもしれない。
  - 人口減少が進んで、人々が暮らすエリアの面積は縮小するので、「暮らすエリア」はまとまったものになるのでは？と予測されている
    - 「住む家」は、3Dプリンターで簡単に家が作れる時代が近づいているようだ。
- 長浜ではどんな「住む・暮らす」があるだろうか？

## 1. 住む・暮らす -自然環境-

- 「自然」は、管理不足や温暖化などで今よりも失われて行ってしまうのかもしれない
  - 一方で「自然の管理技術」はより発展していきそうだ。

→長浜ではどんな「住む・暮らす」があるだろうか？

## 1. 住む・暮らす -生活に関する技術-

- 「ロボット」分野では、人が違和感を持たないAIロボットが開発されるという。また人型ロボットを家族の一員とすることも想像されている。人の脳の情報をロボットに送り、ロボットに活動してもらう技術“ブレインマシンインターフェイス”も発展している。

→長浜ではどんな「住む・暮らす」があるだろうか？

## 2. 移動する

- カーシェア、自動運転、空飛ぶクルマ、電気自動車など、今は発展途上のサービスや、まだなじみのない「移動手段」がどんどん拡大していくようだ。

→長浜ではどんな「移動」があるだろうか？

### 3.費やす -食-

- 「農業」は、従事者は減少するが、スマート農業など新しい技術にも希望が持てそうだ。

- 「食品」については、昆虫食など環境に配慮した食品や、個人に合わせた3Dプリンター料理など、新しい食品が今より増えそうだ。

→長浜ではどんな「費やす」があるだろうか？

### 3.費やす -エネルギー-

- 「電力」は、需要は増加するようだ。

- ゼロカーボンが達成され、「再エネ」の割合が増えそうだ

- 温暖化対策以外に「適応」に関する産業が増えるらしい。

→長浜ではどんな「費やす」があるだろうか？

## 4. 劳わる

- 「介護や医療を必要とする人」の割合は増加するが、介護ロボ、オンライン診療など「介護・医療技術」の発展とそれによる寿命延伸も見込まれている

→長浜ではどんな「劳わる」があるだろうか？

## 5. 働く

- 生産年齢人口は人口の半分まで減り、「働く人の数」は減少しそうだ
- 「産業」は、医療福祉分野の人口が増えるようだ
- 「職種」について、DXなどを背景に、事務職など一部のものはなくなるのかもしれない。
- 「働き方」は、旅行しながら働くなど、より場所の束縛から解放された働き方が進むかもしれない

→長浜ではどんな「働く」があるだろうか？

## 6. 育てる

- 「世帯形態」として、子のいる家族は数も割合も少なくなるようだ
- 男性の育休取得が今後増え、「育児参加」における男女の差は縮まっていくのかもしれない。
- 「家族の価値観」が変化し技術が進展する中で、ロボットを家族とする家庭も出てくるのかもしれない。

→長浜ではどんな「育てる」があるだろうか？

## 7. 遊ぶ

- 「旅行先」の選択肢に宇宙も入ってきそうだ。
  - 温暖化は「観光地の在り方」にも変化を及ぼしそうだ

→長浜ではどんな「遊ぶ」があるだろうか？

## 8. 学ぶ

- 「学ぶ場所」は、オンライン空間が発展し、現実空間に限らなくなりそうだ。  
また大学などは数が減りそうだ。
- 「学ぶ人」は、リスキングが広がり、子供に限らず、多くの大人も対象になりそうだ
- AIが発展し、人間の「学ぶ内容」にも大きな変化がありそうだ。

→長浜ではどんな「学ぶ」があるだろうか？

## 9. 交流する

- 「コミュニティ」は、人々が暮らすエリアの面積は縮小するので、人はより集まりやすくなるのでは？  
とする予測もあり、そこで新しいコミュニティが生まれる可能性もありそうだ
  - 移民の流入が進み、「異文化理解」が重要になるかもしれない。

→長浜ではどんな「交流する」があるだろうか？